

緊急情報

「新高」「豊水」のみつ症に注意！



今年は、収穫期が前進化していることから、**果実の成熟が早く、みつ症(ヤケ果)の発生も早い**可能性があります。



平年より成熟が早まることが予想
みつ症重症果の割合が高くなる可能性
がある

【果樹研における「幸水」の収穫データ】

	満開日	収穫盛期	成熟日数
本年	4/7	7/26	111
昨年	4/7	8/1	116
平年	4/7	8/4	119

「新高」のみつ症発生の軽減策

1 適宜かん水(8月の乾燥は多発の要因)

土壤が乾燥するとみつ症の発生が助長されます。

乾燥が続く場合は 1週間間隔で樹冠下に20~30mm(20~30t/10a)の**かん水**を行いましょう。

2 重症になる前の収穫

積算温度4000℃程度(満開日からの日平均気温計)が収穫の目安。

積算温度に注意しながら、**実際に切って、発生状況を確認**め、

重症化する前に収穫しましょう。

かん水と新高のみつ症との関係 (果樹研究所1998)

	みつ症発生の程度別割合(%)				みつ症の発生割合
	甚	中	軽	無	
かん水区	3	3	10	84	16%
無処理区	17	20	33	30	70%

【アメダスデータ(熊本市)】

月	旬	平均気温		降水量(mm)	
		本年	平年	本年	平年
7	上	27.7	26.1	157	182
7	中	27.6	27.3	184	140
7	下	29.2	28.4	50	77
8	上	29.6	28.5	7	52

「豊水」のみつ症発生の軽減策

成熟が早くなることが予想されるため、**収穫遅れがないよう注意**しましょう。